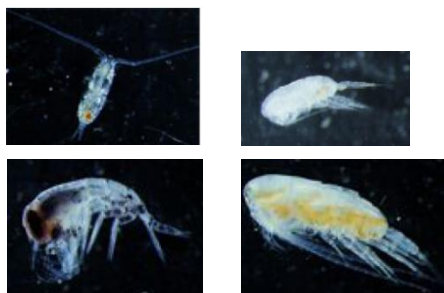


サケ稚魚放流情報 No. 2



令和 6 年 2 月 29 日
 岩手県水産技術センター
 漁業資源部（担当：岡部）
 TEL：0193-26-7915
 FAX：0193-26-7920

2月上旬における湾内の表面水温は7～13℃台で、野田湾及び宮古湾で平年並、山田湾以南で平年よりも高めとなりました。また、2月上旬の動物プランクトン沈殿量は、各湾とも平年よりも少ない傾向でした。

現在、本県沿岸域付近に親潮の波及が認められますが、今後、親潮の波及は弱まり、再び黒潮が優勢となる予想です。3月中旬以降は再び水温の上昇が見込まれますので、1.5g以上に成長した稚魚^{*1}については、随時、放流を検討してください。

1 表面水温（℃）

	野田湾 ^{*2}	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(2/7,8)	8.6	7.3	9.8	13.2	13.1	10.5
平年 ^{*3}	9.1	7.0	7.1	8.2	7.8	7.1
前年同期	7.1	6.8	7.9	7.8	8.1	7.2

2月上旬の各湾の表面水温は7～13℃台で、野田湾及び宮古湾で平年並、山田湾以南で平年より3～5℃程度高めとなりました（図1）。なお、2月下旬は荒天のため、欠測となりました。

2 動物プランクトン沈殿量（ノルパックネット鉛直20m曳き、mL/m³）

	野田湾 ^{*2}	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(2/7,8)	0.09	0.03	0.03	0.03	0.03	0.20
平年 ^{*3}	0.13	0.15	0.12	0.13	0.18	0.37
前年同期	0.03	0.03	0.07	0.03	0.33	0.33

2月上旬は全体的に沈殿量が少ない時期であり、各湾ともに、平年よりも少ない傾向にありました（図1）。なお、2月下旬は荒天のため欠測となりました。

現在、親潮が本県沿岸域付近まで波及しておりますが、依然として北上する黒潮の勢力は強く、親潮の波及は一時的なものであると予測されます（図2、3）。

3 その他

- (1) 北上丸による沿岸海洋観測・動物プランクトン発生状況調査（5湾）及び当センター並びに沿岸広域振興局水産部による野田湾の観測調査（図赤枠）によるものです。
- (2) いわて大漁ナビ（<https://www.suigi.pref.iwate.jp/>）の定地水温情報・衛星画像や当センター発行の海況情報等も参考にしてください。

※1 熊野川の大規模実証試験において、2月放流の場合、放流時のサイズが大きいほど回帰率が高い傾向がある。

※2 野田湾は2月15日に観測・調査を実施、動物プランクトン沈殿量はネットを2回曳いて測定。

※3 平年は過去19～21年間の同期の平均値。野田湾はH17、H19の北上丸及び県北水産部の調査結果の平均値。

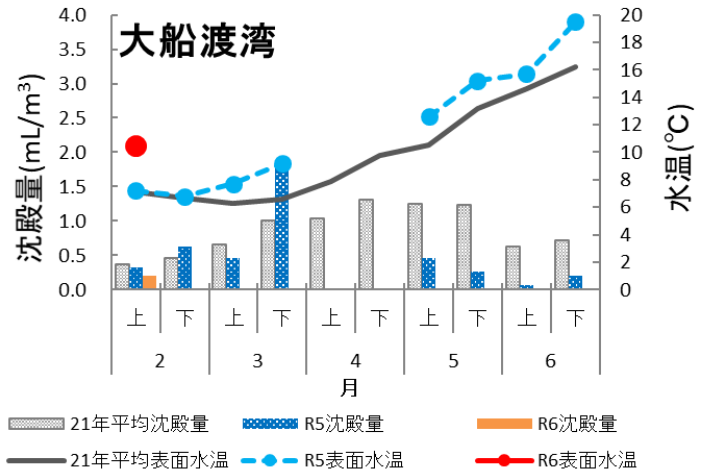
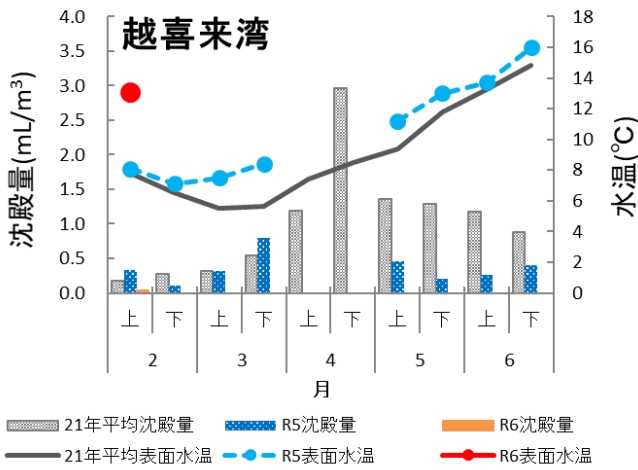
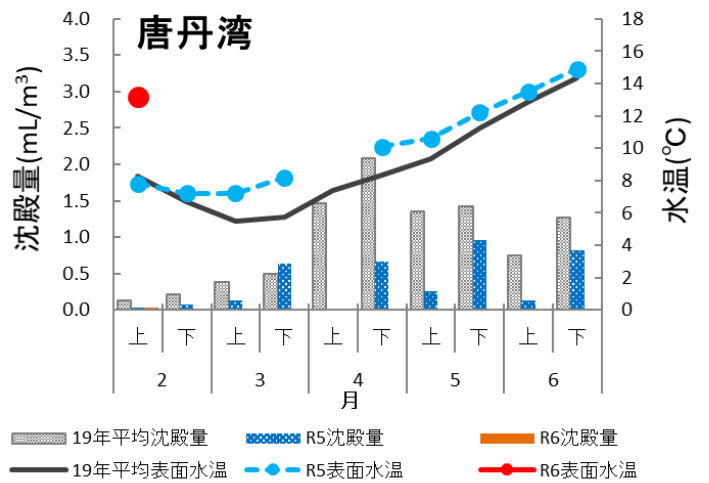
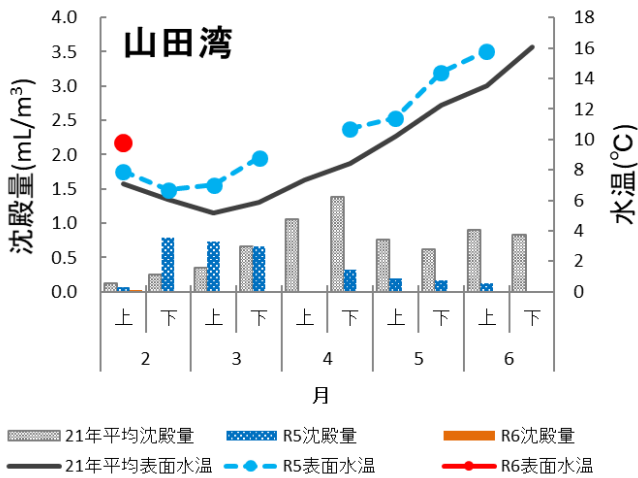
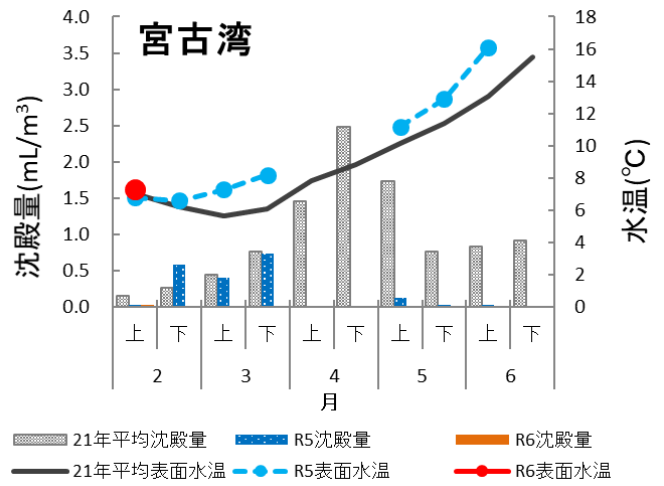
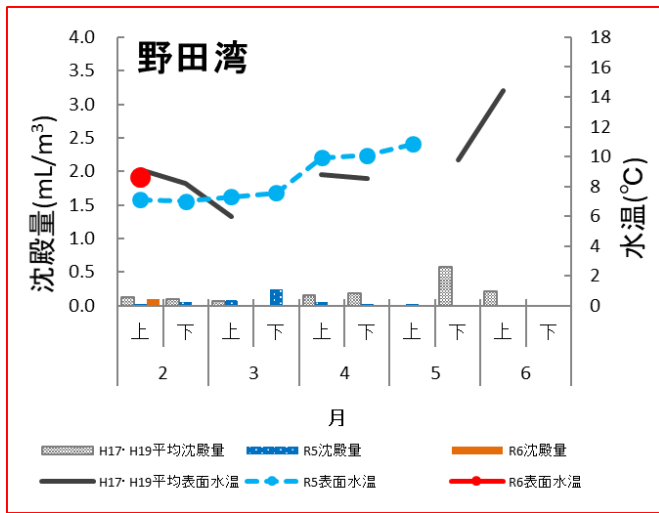


図1 6湾における動物プランクトン沈殿量及び表面水温の月旬毎の変化
 ※水温値が欠落している箇所は欠測であり、併せて同期の沈殿量データも欠落している。

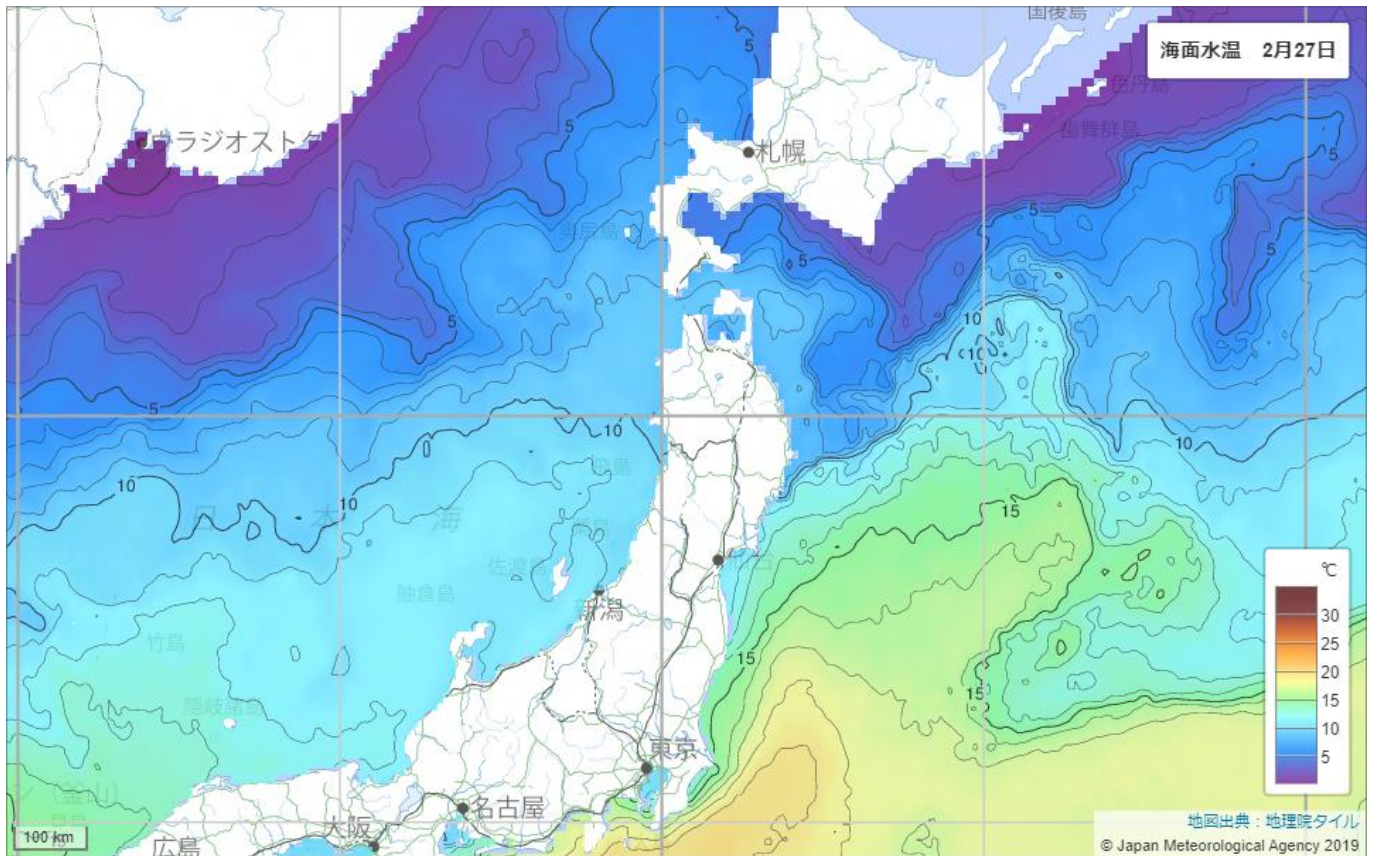


図2 令和6年2月27日の海面水温図

※気象庁 HP ([気象庁 | 海面水温実況図 \(jma.go.jp\)](https://www.jma.go.jp)) より引用

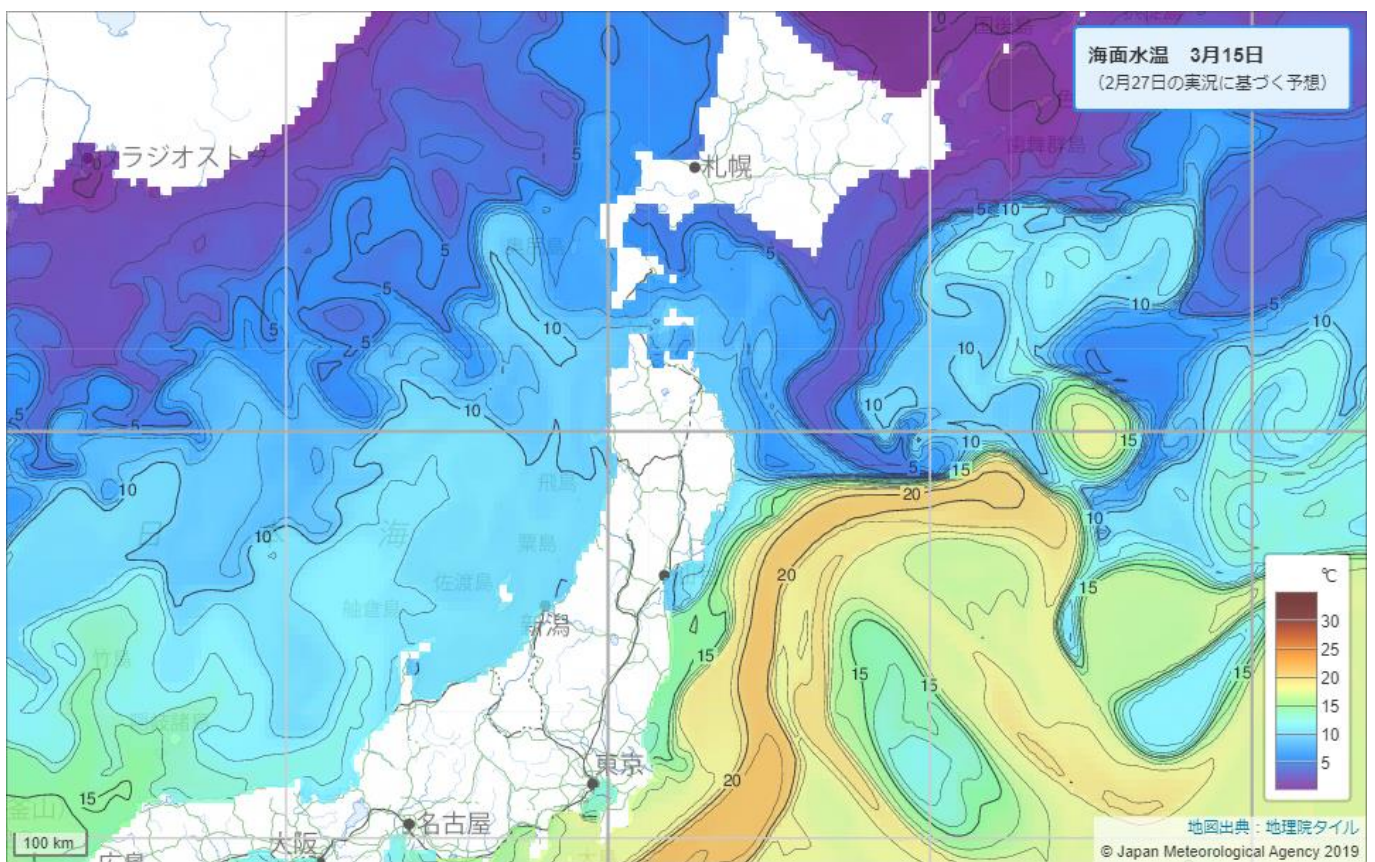


図3 令和6年3月15日の海面水温予測図

※気象庁 HP ([気象庁 | 海面水温予想図 \(jma.go.jp\)](https://www.jma.go.jp)) より引用